

地球と共生して未来を守る

NEC 2030VISIONで示した“地球と共生して未来を守る”には、「脱炭素」「温暖化」「水・食の安全」の3要素をいれました。これは、今日、地球で起きている気候変動などの様々な環境課題をNECの事業を通じて解決・改善し、持続可能な社会を実現するためです。NECは2018年よりマテリアリティの1つとして「気候変動を核とした環境課題への対応」を掲げており、「DXを通じたお客様・社会からのCO₂排出量の削減」と「気候変動による様々な影響への備え」による、「緩和(脱炭素)」と「適応」の両面から気候変動対策による価値を提供しています。環境課題に貢献するソリューション・サービスの提供を一層拡大することで、地球環境の保全と企業と社会の持続可能な成長を支えます。

「持続可能な社会」実現に向けた環境への取り組み

気候変動への対応として、2050年CO₂排出量“実質ゼロ”を掲げ

2030年までのSBT*を設定するとともに、環境課題解決に貢献するソリューション・サービス提供を推進

2050

2050年を見据えた気候変動対策指針

(2017年7月発表)

2050年にCO₂排出量を実質ゼロへ

2030

SBT* 1.5°C (2021年5月取得)

Scope1,2からCO₂排出量を2017年度比55%削減

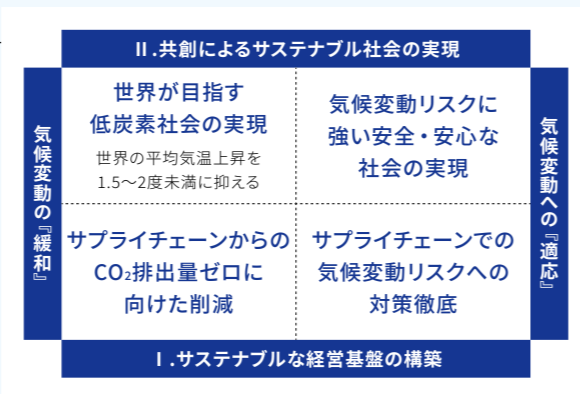
2020

事業を通じて環境価値5倍の創出

(2014年7月発表)

2018

マテリアリティの一つに『気候変動を核とした環境課題への対応』を位置づけ



2020年度までの気候変動対策目標



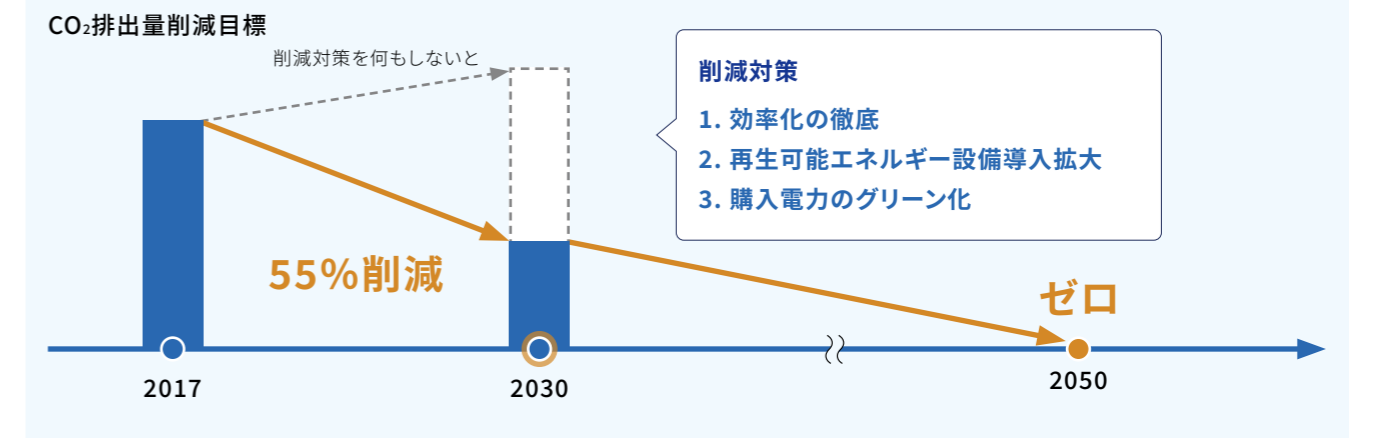
* Science Based Targets

2050年までにCO₂排出量“実質ゼロ”を目指して

脱炭素 温暖化

NECの持続可能な経営基盤の強化と、お客様との共創による持続可能な社会を実現するために、2017年に「2050年を見据えた気候変動対策指針」を策定しました。本指針に基づき、NECの事業活動に伴うCO₂排出量 (Scope1、Scope2) を、2050年までに実質ゼロにすることを目指しています。2021年にはRE100 に加盟し、2050年までに再生可能エネルギーによる電力100%を目指し、活動を推進しています。

RE100
CLIMATE GROUP | CDP



NECのSBT達成に向けた取り組み

脱炭素

2021年に気候変動対策目標を「SBT well below 2°C」から「SBT1.5°C」へレベルを引き上げ、サプライチェーン全体での環境負荷とリスクの削減を強化しています。特に、NECの全CO₂排出量のうちサプライチェーンからのCO₂排出量が全体の95%を占めることから、従来から取り組んできた「販売した製品の使用による排出」に加えて、あらたに「購入した製品・サービスの排出」において、お取引先とのエンゲージメントを通じて削減に取り組んでいます。

SCIENCE
BASED
TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

サプライチェーンからのCO₂排出量 (Scope3) 削減

NECのビジネスモデル

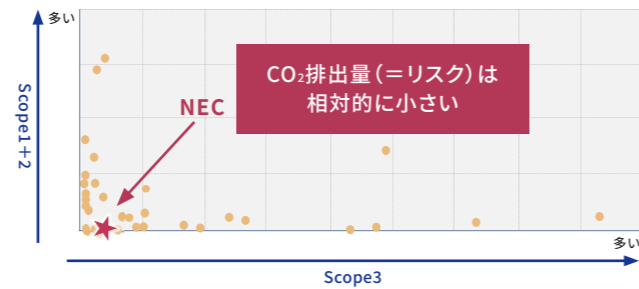
地球と共生して未来を守る

事業を通じた脱炭素への貢献

脱炭素

NECのCO₂排出量は、産業界全体でみると相対的に小さく、社会に与えるインパクトは小さいですが、NECのICTを活用することで、CO₂排出量の高い業界の削減に貢献することができます。社会全体の脱炭素を加速するため、事業を通じた脱炭素の取り組みを一層強化しています。

企業のCO₂排出量によるマッピングから見たNECのポジション



(注) 株式会社グリーン・パシフィック作成資料にNECが一部加工。禁無断転載

CO₂削減貢献量の算出方法

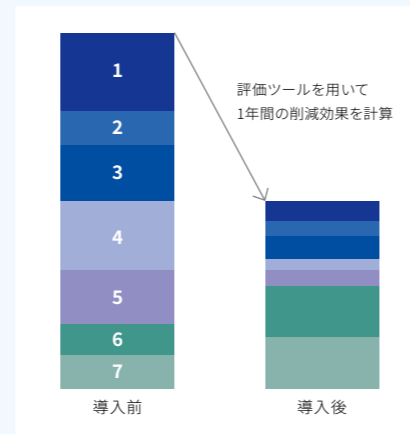
ICTソリューション導入による変化をCO₂排出量で評価(CO₂排出に関わる7つの活動に着目)

ICTの導入で負荷が減らせるもの

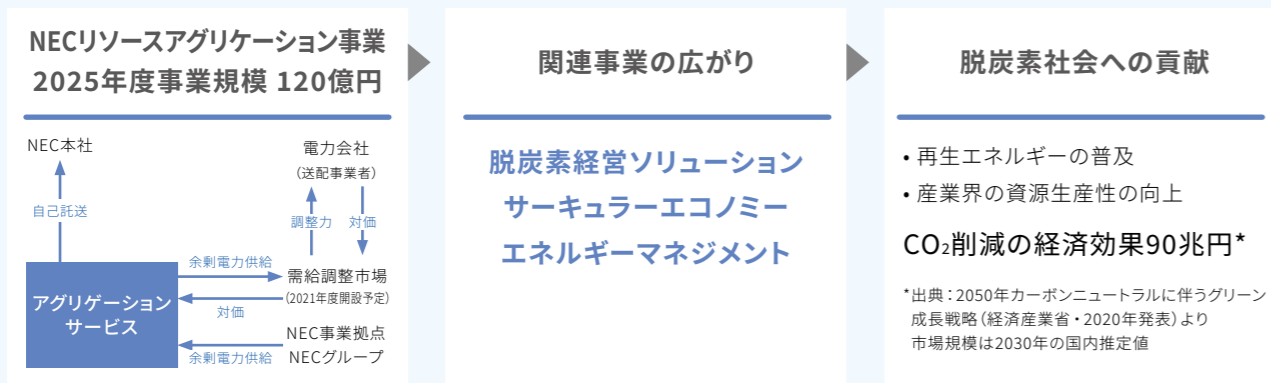
- 1. 人の移動: Web会議システムの活用
- 2. 紙の使用: 電子ファイル共有、電子ブック
- 3. モノの使用: ネットワークサービス利用
- 4. モノの移動: 物流の効率化、モノの電子化による移動削減
- 5. モノの保管: 紙やモノの使用削減による保管場所の削減

ICTの導入で負荷が増えるもの

- 6. IT機器の使用: 新規システムにより増えたIT機器の消費電力の増加
- 7. ネットワークサービス利用: ネットワークの負荷増加による消費電力の増加



脱炭素社会に貢献する「カーボンニュートラル関連事業」



その他の事例

- ④ サステナビリティレポート2021 P.41 アフリカでのハイブリッド蓄電システムによるCO₂削減 **脱炭素**
- ⑤ サステナビリティレポート2021 P.40 温暖化への備えと水の安全に貢献する「河川水位IoT監視システム」 **温暖化** **水・食の安全**

リスクと機会

脱炭素 温暖化 水・食の安全

NECでは、気候変動や有害物質による汚染などの環境リスクが事業に与える影響を認識し、評価、点検、教育などを通じて、リスクの低減や未然防止活動を行っています。特に気候変動では、TCFDの提言に沿ってリスクと機会を短期/中長期視点で捉え、将来に生じる影響を評価し、リスクへの対策と機会に対するアセットを確認しています。



リスクと機会一覧 **気候変動** **その他の環境課題**

環境目標 エコ・アクションプラン2025

脱炭素 温暖化 水・食の安全

2050年までにCO₂排出量“実質ゼロ”を達成するため、NEC 2030VISIONや2025中期経営計画を踏まえた5カ年の環境目標を設定しています。

- 1. 自社のリスク・負荷低減
- 2. 事業を通じた貢献の拡大
- 3. 環境経営を推進するための基盤づくり

「重点活動項目」では、3つの視点に分けて選定しました。

⑤ 2.3の詳細はサステナビリティレポート2021 P.31-32 NECエコ・アクションプラン2025をご参照ください。

1. 自社のリスク・負荷低減

活動テーマ		指標	2025年度目標	
CO ₂ 排出量削減	自社	総量(絶対値)削減(SBT)	エネルギー由来CO ₂ 排出量(絶対値)の削減率(2017年度比)	-33.6%
		再生可能エネルギーの導入拡大	再生可能エネルギー電力使用量	78,000MWh
	サプライチェーン	カテゴリ1削減(SBT)	購入した製品・サービスのCO ₂ 排出量削減率(2017年度比)	-6.0%
		カテゴリ11削減(SBT)	製品のエネルギー効率改善率(2013年度製品比)	90.0%
水使用量の削減		削減率(2018年度比)	-3.5%	
廃棄物排出量の削減		削減率(2018年度比)	-4.8%	

環境に関する社外からの評価

脱炭素 温暖化 水・食の安全

CDP2020において、気候変動およびウォーターの2部門で、2年連続で「A」の評価を受けました。サプライヤーエンゲージメント評価においても最高評価となる「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に選定されました。

